

患者中心の医療を学ぶウェブセミナー

患者さんの心に寄り添う支援を目指して

2021年5月20日（木）
午後7時00分～9時00分

ZOOMによるウェブセミナー

演者

群馬県難病支援センター
川尻 洋美さん



参加費無料 定員100名

参加申し込み：info@jppac.or.jp

氏名、所属、お立場を記入ください
後日、**URL**、パスワードをお送りします。



講演概要

難病相談支援センターに寄せられた相談から、難病の患者さんが抱く不安や悩みと患者さんの心に寄り添う支援についてお話しします。

当事者の力を活かすピア・サポートや医療職と患者の良好なコミュニケーションが治療に与える影響についても皆様と話し合えたらと思います。

主催：

NPO法人 患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会

協力：
一般社団法人 ピーベック
PPHプロジェクト

医薬品産業イノベーション研究会

グリーンルーペ



難病ピア・サポートワークショップ 2017.6.22ニュース You Tube

川尻 洋美さんプロフィール

2006年群馬大学大学院保健学研究科修了。
難病診療拠点病院内にある難病相談支援センターの
難病相談支援員（保健師）として16年のキャリア
があり、昨年度まで6年間、厚生労働省研究班の分
担研究者も務める。

2017年3月、難病の支援体制や相談支援や就労支援、
難病のピア・サポートなどをまとめた「難病相談支
援マニュアル」を出版。難病の患者が同じ境遇の患
者と語り合い、共感と体験の共有による「ピア・サ
ポート（仲間による支援）」事業を積極的に推進し
ている。

ある患者さんのつぶやき

ある日突然、難病患者になった。
これからどうなっていくのだろう。仕事はどうすればいいのだろう。
わからないことばかりなのに周りに同じ立場の人が誰もいない。
誰にも聞けない。
難病1年生の私は、原因のわからない身体の不調にとまどうばかりだった。
それから数年。難病ピア・サポーターの研修で知り合った友人とお茶会をした。
5時間も語り合った。通院のこと、生活の中で感じる困難さ、先行きの不安
……。
患者だから共有している体験や思いがある。
患者同士だからわかりあえることがある。
心が少し軽くなった。
だから、話したいことが話せる場所作りが必要だと思う。



引用：難病相談支援センターとピア・サポート（難病相談支援のためのハン
ドブック2）

* 難病とは *

- 発生の機序が明らかでなく
- 治療方法が確立していない
- 希少な疾患であって
- 長期の療養を必要とするもの
と定義されていて、「難病の患者に
対する医療費等に関する法律（難
病法）」により、総合的支援を進め
ることとされている疾患です。

ひとりで悩まないで

こんな相談をお受けします。



引用：群馬県難病相談支援センター
パンフレット

私たちは「患者協働の
医療」の実現のために
活動するネットワー
クです。

あなたの参加を心待ち
にしています。

info@jppac.or.jpまで



Green Loupe

